

報道事業者

富山新聞は1923年（大正12年）に創刊した富山県の地元紙であり、2023年5月に創刊100年を迎えます。これまで地域に密着したきめ細かな報道と建設的な評論・提言をはじめ、さまざまな事業や顕彰活動などを行い、地域社会の発展を後押ししてまいりました。今後もこうした取り組みを通じ、持続可能で活力ある地域社会づくりに邁進してまいります。

<p>【目標】 幅広い年代を対象に、質の高い教育を提供します。</p>	
<p>【主な取り組み】 小中学校などで「新聞の読み方講座」を行い、SDGsをはじめ社会の課題への関心を高めるとともに、富山新聞文化センターによる多彩な講座を通じて幅広い世代に学びの場を提供し、県民の豊かで生き生きとした生涯を支えます。</p>	
<p>【目標】 文化や芸術、スポーツ、産業などの分野で活躍する個人・団体を応援し、活力ある郷土づくりを目指します。</p>	
<p>【主な取り組み】 文化や芸術、スポーツの各分野で研鑽を積み、多大な功績を挙げた県民・団体を表彰する「富山新聞文化賞・芸術賞・スポーツ賞」、まちづくりや環境保全、伝統文化の継承などに長年にわたって地道に取り組む県民・団体を表彰する「富山風雪賞」を通じて、郷土の振興に貢献する人材の育成を図ります。 また、農林業の振興や地域活性化に尽力している人を称える「富山県農村文化賞」の顕彰により、地域の基盤となる農業の持続的な発展を後押しします。</p>	
<p>【目標】 新聞を通して日本、なかんずく郷土の繁栄と平和の確立に貢献するという理念のもと、社会のさまざまな関係機関を結び付け、課題解決に努めます。</p>	
<p>【主な取り組み】 行政や企業、大学などと連携を図り、SDGsの普及や啓発に努めます。</p>	

高岡を持続可能なまちにするために

- 高岡で住み続けられるまちづくりの一環として、歴史都市高岡の価値や魅力をニュースや連載企画を通じて発信・発掘し、市民の郷土愛の醸成を図ります（ゴール11）
- 職業体験である「14歳の挑戦」を積極的に受け入れるとともに、受け入れ各企業の取り組みを報道することにより、高岡の企業の魅力を広く伝え、人材の地元定着を後押しします（ゴール4, 11, 17）